

【表紙】

【提出書類】 有価証券報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の2第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年8月31日

【事業年度】 第41期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)

【会社名】 株式会社CSKホールディングス

【英訳名】 CSK HOLDINGS CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 福山 義人

【本店の所在の場所】 東京都港区南青山二丁目26番1号

【電話番号】 03 - 6438 - 3901(大代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員財務経理部長 熊崎 龍安

【最寄りの連絡場所】 東京都港区南青山二丁目26番1号

【電話番号】 03 - 6438 - 3901(大代表)

【事務連絡者氏名】 常務執行役員財務経理部長 熊崎 龍安

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月29日に提出いたしました第41期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)の有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

4 事業等のリスク

< 共通リスク >

(8) 資金調達

7 財政状態及び経営成績の分析

(3) 資本の財源及び資金の流動性について
資金の安定化について

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第2 【事業の状況】

4 事業等のリスク

< 共通リスク >

(訂正前)

(1) ~ (7) <省略>

(8) 資金調達

当面の資金安定化については、「第2 事業の状況 3 対処すべき課題 (3) CSKグループの再生に向けて) 既存借入金残高維持による資金の安定化」をご参照ください。

(訂正後)

(1) ~ (7) <省略>

(8) 資金調達

現在、主要取引銀行に対して、短期無担保借入金295億円、コミットメントライン300億円、みなとみらい21土地購入目的として80億円の計675億円の借入金及び平成22年7月を期限とする私募債200億円の有利子負債を有しております。

銀行各行からは、蓋然性の高い事業計画・返済計画や返済計画に基づいた担保設定等の合意できる諸条件の整備の下、資金の長期化についての方向性及び当社再生への支援を継続する旨の同意をいただいております。借入金の残高は維持される見通しですが、現在銀行各行と当社は蓋然性の高い事業計画の検証及び諸条件の調整を行っており、合意に至るまでは短期無担保借入金について1ヶ月ごとの継続としております。

今後は、銀行各行と当社、銀行間での合意が早期に得られるよう諸条件の調整を進めることで、借入金の長期化等は十分実現可能であると考えております。また、銀行各行は当社の情報サービス事業から安定的なキャッシュ・フローが確保されていることを認識しており、そのこと自体が支援を継続していただいている理由になっていると理解しております。

7 財政状態及び経営成績の分析

(3) 資本の財源及び資金の流動性について

(訂正前)

～ <省略>

資金の安定化について

当面の資金安定化については、「第2 事業の状況 3 対処すべき課題 (3) CSKグループの再生に向けて) 既存借入金残高維持による資金の安定化」をご参照ください。

(訂正後)

～ <省略>

資金の安定化について

現在、主要取引銀行に対して、短期無担保借入金295億円、コミットメントライン300億円、みなとみらい2 1土地購入目的として80億円の計675億円の借入金及び平成22年7月を期限とする私募債200億円の有利子負債を有しております。

銀行各行からは、蓋然性の高い事業計画・返済計画や返済計画に基づいた担保設定等の合意できる諸条件の整備の下、資金の長期化についての方向性及び当社再生への支援を継続する旨の同意をいただいております。借入金の残高は維持される見通しですが、現在銀行各行と当社は蓋然性の高い事業計画の検証及び諸条件の調整を行っており、合意に至るまでは短期無担保借入金について1ヶ月ごとの継続としております。

今後は、銀行各行と当社、銀行間での合意が早期に得られるよう諸条件の調整を進めることで、借入金の長期化等は十分実現可能であると考えております。また、銀行各行は当社の情報サービス事業から安定的なキャッシュ・フローが確保されていることを認識しており、そのこと自体が支援を継続していただいている理由になっていると理解しております。

以上